

カトリック六甲教会 教会報



平和旬間「祈りの集い」に集まろう

8月10日の夕べ

毎年、神戸地区合同で行われていた平和旬間行事は、ことしは各小教区で企画し開催されることになりました。六甲教会は「祈りの集い」を8月10日（土）夕方5時半から約1時間、主聖堂にて行います。夏の土曜日の夕刻、夕ミサの始まる前のひととき、静かに「平和」について考える機会です。信徒のみなさまの多数のご参加を願っています。また、どなたでも参加していただける「祈りの集い」です。内容は以下の通りです。
(平和旬間実行委員会)

第1部 聖歌「あなたのへいわの」
教皇ヨハネ・パウロ二世
広島「平和アピール」で祈る
アピール文の朗読 ①～⑥
聖歌「キリストの平和」
黙想

第2部 共同祈願
聖歌「キリストの平和」
黙想
聖歌「シャローム」



第2部の黙想中、参加者の方それぞれの平和への願い、祈りを「短冊」に書いていただき、それをあとの夕ミサで奉納することになっています。

※教皇ヨハネ・パウロ二世「広島アピール」とは
1981年2月25日、初めて日本を訪れた教皇ヨハネ・パウロ二世の被爆地広島での平和メッセージ。「戦争は人間のしわざです…」にはじまる長文で、世界に発信された。

聖母の被昇天ミサについて

8月15日(木) 07:00~ 10:00~

8月15日を聖母マリア被昇天の日とした初めの記録は、エルサレムに残されていた5世紀半ばのアルメニア語の朗読聖書にあります。マリアの死を、天における新しい誕生として記念すると記されています。その後1950年11月、教皇ピオ12世が聖処女マリアの被昇天の教義を全世界に公布しました。



2019年度 第2回小教区評議会議事録(要約)

- ◆ 7月14日 12:00～13:40 信徒会館第4会議室
- ◆ 出席者 アルフレド主任司祭 中村司祭 議長団 書記 および各部コーディネータ(三日月会、壮年会、教会学校、地区会 典礼部、宣教部、養成部、社会活動部、広報部 施設管理部 財務部) 事務所

1、アルフレド主任司祭より

イエズス会の要請で、教会3階のロヨラルームの一部を、近く六甲学院に赴任する中間期生の住居として利用することの提案があり、一同了承した。今後、ロヨラルームは司祭館となる。

2、教会の呼称について

従来、教会の呼称を「カトリック六甲教会」としてきたが、地名が先に来る「六甲カトリック教会」が本来であるということになり、賛否両論出たが、今後は六甲カトリック教会と称することになった。

報告事項

○平和旬間行事について(平和旬間プロジェクトチーム)

8月10日(土)17時30分から小教区で「祈りの集い」を行う

ヨハネ・パウロ2世の広島アピールの朗読を中心に歌と祈りを捧げる。参加者の平和の願いを19時のミサで奉納する

○地区役員会 7月21日(日)に納涼の夕べの出店は最終決定する

○社会活動部 学習会アベイヤ補佐司教の講演会報告

○東ブロック合同堅信式

6月23日(日)中央教会にて 六甲教会から受堅者10名

○7月度神戸地区宣教司牧評議会

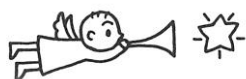
大阪教区から、平和旬間及び10月の福音宣教特別月間については教区のホームページのダウンロードなど活用してほしいとのこと

○祈りと音楽の集い 7月7日(日)オルガニスト椎名雄一郎氏 聴衆約200人 好評であった

○秋の黙想会 10月12日(土)酒井補佐司教の予定

○防災計画チーム(仮称)

主任司祭を中心として5名で構成 避難訓練や物資の備蓄を検討中



お知らせ

- **出演者募集**：今年も12月7日(土)、野宿者を支えているカトリック社会活動神戸センター支援のためのクリスマスチャリティーコンサートが、カトリック神戸中央教会で午後1時～4時まで開催されます。出演されたい方は 事務所に置かれている申込要綱をご覧の上、8月18日までにご提出ください。
- **講演会のお知らせ**：〈講師〉津和野カトリック教会 主任司祭 山根敏身神父様
〈演題〉浦上四番崩れー津和野乙女峠の証し人に学ぶー 〈日時〉2019年9月14日(土) 〈場所〉カトリック六甲教会主聖堂(詳細は、教会報9月号に掲載の予定)



東ティモール 浦神父さまからおたより

東ティモール聖イグナチオ学院の浦神父さまから、教会へ大要下記のようなお礼状が届きましたのでご紹介します。浦神父さまはこの4月に一時帰国され、六甲教会でミサを立てられました。

⇒「浦神父ブログワニ通信」より

2019年6月11日

カトリック六甲教会

主任司祭 アルフレド・セゴビア神父様

信徒の皆様

東ティモール聖イグナチオ学院基金 浦 善孝

アルフレド神父様をはじめ六甲教会の信徒の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、聖イグナチオ学院基金に2019年の奨学生30人分をご寄付いただきましたことを、心から感謝しお礼申し上げます。また、今年から卒業生2名が上智大学に留学するにあたり、生活費の援助を受けることができるようになりましたこと合わせてお礼申し上げます。

ことしの1月から7期生の新中学1年生が入学しました。新1年生は1期生を知らず、卒業生と一巡することになり新しい時代に入ってきました。これからは学校の設立精神を忘れることなく、質の高い教育ができるように精進してゆかねばならないと思っています。

私は教頭、事務長、図書館係の傍ら一学年だけ週6コマ、宗教・道徳の授業を担当していますが、今年は高校3年生の全クラスを教えています。この学年は中学1年から6年間持ち上がってきた学年です。10月には卒業検定試験を控えています。私も56歳になりました。この学年が卒業したら、もう一度中学1年生に戻って今度は歴史・地理、政治経済を教えながら高3まで持ち上がろうと思っています。この6年のサイクルで私の教職はおそらく終わりになると思います。図書館の仕事や事務職は続けることができるでしょう。

東ティモールで始まった新しい教育使徒職を、今後も継続してゆくことができるように、引き続きみなさまのご理解とご協力、そしてお祈りをお願い致します。みなさま、どうぞお健やかに過ごして下さい。

納涼の夕べをみんなで

テーマ「手をつなぎ心をつないで夏祭り」

8月17日(土)は納涼の夕べです。秋のチャリティーバザーと同様、各地区会が中心になり、信徒が一緒になって楽しいイベント、大切な催しです。お昼からテントや屋台を用意し、汗を流して働きます。当日のタミサは17時からですので開始は18時から。夜風がようやく涼しくなるころです。屋台をめぐり、夜店の雰囲気、バイオリンなどのステージ(18時15分から18時30分)も計画されています。子どもたちの楽しいゲームや花火大会も。終わりは20時です。後片付けもよろしくご協力下さい。出店内容と担当地区は右表の通りです。

8月17日「納涼の夕べ」各地区担当表

担当地区	出店内容
灘北1・北三田	カレーライス
灘北2・阪神	生ビールおよびその他の飲み物
灘南・神戸西	食品(フランクフルト、コロッケなど)
灘西・中央	カキ氷・綿菓子
東灘北1	花火・ゴミ回収
東灘北2・芦屋	焼き鳥
中高生	ヨーヨー スーパーボール
教会学校	ゲーム



祈りと音楽の集い (7月7日)



宗教音楽の鑑賞の仕方は、人さまざまでしょうが、私は作曲者の祈り、演奏者の祈りに包まれて、自分の祈りに浸るのが好きです。著名なオルガニストの椎名雄一郎氏をお迎えしての今回——幸せなひと時でした。

神様と椎名氏、スタッフの皆様へ感謝！

素晴らしい演奏に、ただただ聞きほれた人も多かったのではないのでしょうか。演奏が終わると大きな拍手がわ

き起こりました。氏が、六甲教会のパイプオルガンを、「小さいながら、いい音が出る」と、褒めて下さいました。嬉しいですね。

(小坂田 さち子)



図書室からのお知らせ

教会員の皆様へ 図書室の図書貸出利用について
カトリック六甲教会は近隣の教会に比して多くの蔵書量を持つ教会です。閲覧を希望される方には信徒か否かに限らず解放されています。どんどん利用をされたいと思います。

貸出しにあたっては、これまで『図書カード』による利用をお願いしていましたが、カードの使用を止めることにいたしました。図書室入り口の貸出ノートに「図書名」「借り出し者の氏名」等の必要事項をお書きいただくことで、借り出すことができます。また1FホールのDVD、CD、テープについても同じく借り出すことができます。なお[禁帯出]のシールの貼ってあるものはご遠慮下さい。

返却時には、借りる時に、あった棚にお戻し下さい。お分かりにならない場合は、南側窓の台に置いておいていただければ結構です。

図書の寄贈を希望される方は、教会受付へ申し出ください。その際、本の推薦コメントを添えて頂くと嬉しいです。すでに図書室に存在するとか、返却になる場合もありますのでその際にはお許し下さい。

図書室の利用についてのご意見、希望等がおありの方は、投書箱が、図書室入り口に置いてありますので、遠慮なくお知らせください。お待ちしております。

読書されて、「好かった」「おススメ」などの感想を持たれたとき、図書室にあるか否かを問わず、そのご感想を教会報へ投稿していただくと、図書や図書室への関心が強まるかと思っておりますので歓迎したいと思います。

【施設管理部 園芸係】

真夏の太陽が照りつける季節となりました。

信徒会館入口の右側には「門かつぎの松」と「モクレン」その足元には「ダイセンキャラボク」「ツワブキ」等が植栽されており、石灯笼が置かれた日本庭園です。松は植木屋さんが剪定されます。モクレンは、アルフレド神父様が四季を通してお手入れされて見事なシンボルツリーとなりました。当時の設計者は教会訪問される方々を静寂な祈り時に導けるよう考えられたのでしょうか。昨年、ダイセンキャラボクの半分が枯れ、空地となりました。和の趣を壊さないようにと秋の七草、万葉集に登場する「キキョウ」を植えました。根は薬草として使われ去痰の効用があります。



7月22日(月)から9月7日(土)まで、朝、夕の水やり当番表が事務所に置いてあります。お手伝いくださる方はご記入ください。よろしくお願いたします。

【社会活動部】

8月は、すべての社会活動行事（手芸、ふれあい、炊き出し、ともしび会）は、お休みです。

暑苦しい夜が続く。何処を触っても温かく感じられる。どうすれば少しでも凌ぎ易くなるのか、あれこれ試している。エアコンのスイッチを入れ、設定の温度を下げるのはごく簡単な操作だ。しかしこれは、工夫することには当たらない。子供時代はどうであったか、たしか濡れタオルを額に巻き、脚を水のバケツに漬けて宿題をしていたっけ。セミ取りに夢中で、汗をかくことに無頓着だったのか。夜は窓を開けっぱなしにして、蚊帳に入って裸で寝ていた。かなり原始的で滑稽でもあるが、どこの家でも似たような光景だったのでは。

広島司教区に長かったためか、平和旬間の行事に忙しかった。6日早朝の慰霊祭には各宗各派の宗教者が集い、厳粛な祈願が捧げられた。長束の修練時代も今日でも、荘重にグレゴリアンで「永遠の安息を彼らに与え、絶えざる光を照らし給え」と祈り求めた。最近の世界情勢を考えると何だかキナ臭いツバ競り合いが続き、狂気の戦争が始まりかねない危なかつしさである。キリスト者ならではの使命や役割に目覚め、大いに祈り働き努めたいものだ。キリストの平和・パックス クリスティは、ローマの平和やアメリカの平和とは全く異なるもの、一切の威嚇や脅迫、武器や権力をふりかざし力づくで確保される強制や無理強いではない。ひとえに神からの恵みとして与えられ支えられる平和、まさに神の賜物である。その意味では憲法改定に、原子力発電に、沖縄の基地化に、安倍保守政権に絶対反対を叫ぶことだけで

は足りない。人間存在の根幹であり源泉である神の招きに応じて、我も彼もひたすら回心する必要がある。人を憎む心、人を蔑む心、人を拒絶する心を退け、キリストの平和を少しでも実現するために、骨身を惜しまず力を合わせて働こうではないか。

世界の或る地域では今も戦争が絶えず、殺し合いに明け暮れている。私の幼な心に焼き付けられた、破壊と殺戮に怯えて逃げ回った日々を思い出す。空襲警報が発令され、大急ぎで急造の防空壕に逃げ込む。ザーッと豪雨のような音と共に、焼夷弾が辺りに降り注ぐ。紙と木でできた日本家屋はひとたまりもない、あちこちで地獄絵図が繰り広げられた。隣り組が常日頃、訓練してきたバケツリレーなどはまさに子供だましだった。住んでいた御影は住宅地ではあったが、神戸と大阪の間に位置するのでかなりの被害を受けた。また時にはグラマンが大気を切り裂いて急降下し、機銃掃射を浴びせかけた。一家が離ればなれになる場合に備えて、各自が名札と非常食を携えていたが、蓋つきの器に炒り豆が少々と角砂糖一個が収まっていた。忘れられない思い出の一つである。或る日には家族が避難していた防空壕に焼夷弾が命中し、火に包まれると同時に爆風で壕の外に吹き飛ばされた。全員が奇跡的に助かったが、壕の天井部に穴が開き、アルミの弁当が大きくひしゃげ、妹のまつ毛が焦げていたばかり、実に不思議な出来事であった。(中村健三 合掌)



この号がお手元に届くころには梅雨は明けているでしょうか。夏を迎えて、教会は平和旬間、納涼の夕べなど暑い中にも活発な活動を続けます。9月には毎年恒例になったバーベキュー大会も企画されています。主のお恵みをいただきながら夏を乗り切りましょう。なお、7月の小教区評議会の決定により、教会報は9月号から題字を六甲カトリック教会・教会報とします。ひきつづきご愛読下さい。

【 2019年8月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					初金曜日ミサ 7:00 10:00	
4	5	6	7	8	9	10
年間第18主日		主の変容 日本カトリック平 和旬間(~15日)		教会学校キャン プ(~10日)		平和旬間行事 17:30 聖ラウレンチオ助祭 殉教者
11	12	13	14	15	16	17
年間第19主日	教会受付休 み			聖母被昇天 聖母の被昇天ミ サ 7:00 10:00		納涼の夕べ (ミサ 17:00)
18	19	20	21	22	23	24
年間第20主日						聖バルトロマイ使徒 中高生会キャンプ (~26日)
25	26	27	28	29	30	31
年間第21主日						

《訂正とおわび》7月号第1面本文2行目最後の部分、教皇「ヨハネパウロ6」とあるのは「ヨハネパウロ2」に訂正しま
す。また5行目の最後「モンゴルなど」の部分は削除します。(広報部)

<p>次回9月号の発行は、8月31日(土)です。</p> <p>原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご 持参いただくか、FAX やメールでお願いいたし ます。皆様からの原稿をおまちしております。</p> <p>(広報部)</p> <p>http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p>カトリック六甲教会</p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21</p> <p>電 話 078-851-2846</p> <p>F A X 078-851-9023</p> <p>E - メ ー ル renraku@rokko-catholic.jp</p> <p>発行責任者 アルフレド・セゴビア</p> <p>編 集 広 報 部</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------